みなぎる力

伊丹市立笹原中学校　２年生学年通信　　３号　　２０１８年５月２１日（月）

トライやる・ウィーク　決意文

トライやる・ウィークが 14 日～18 日の 5 日間に、多くの事業所等の協力により無事に行うことができました。先生だけでなく、トライやる推進委員さん、PTA の方々もみんなが頑張って活動している姿を見に行ってくださいました。多くの事業所で**「しっかりと大きな声で挨拶をしてくれる。」「一生懸命に取り組んでくれる」「朝来たら、自分から掃除をしてくれていて、びっくりしました」**など、多くのお褒めの言葉をいただきました。

これもみんなが準備から一生懸命取り組み、本番に臨めたからではないでしょうか。その中でも決意文には、みんなのトライやる・ウィークへの思いがたくさん書かれていました。出発式で読んでくれた決意文を載せますので、もう一度読んで、今日からの学校生活に活かしてください。

【■■　■■　　ANA 大阪国際空港】

私はトライやる・ウィークで、あいさつやお客様と接するコミュニケーション能力などを身につけたいです。　～中略～　仕事をするということは始めてだけど、元気に挨拶をして、言われた事以上に自分から行動してたくさんのことを教えてもらいたいです。　～中略～　たくさんのことを教えてもらうには、常に全力で与えられた仕事をすることや、自分で見つけて自分から行動することが大事だと思うので、それを意識してトライやる・ウィークに望みたいです。

【■■　■■■　伊丹セントラル行基】

私はこのトライやる・ウィークは「大人になる体験」だと思っています。こういう体験は一度しかないので真剣に取り組みたいです。挨拶や見た目が、第一印象につながるため、声の大きさには特に気をつけて行きたいです。また、へらへらやにやにやはしないように気をつけたいです。～中略～　トライやる・ウィークに行くまでに大人に近づく生活をしたいと思います。そのためには群れないということが必要です。返事も「はい」と相手に伝わるようにして、活動に取り組みたいです。

【　□□　□□　　ラスタホール】

私はトライやる・ウィークに行くことで、働くということがどれだけ大変か、働くことでどんなことが学べるか分かったらいいと思います。～中略～　トライやる・ウィークに行って、自分が思っていることや考えていることをしっかりと伝えられるようになりたいと思っています。

～中略～　学習センターの方では、子どもと触れ合うことには慣れていませんが、一生懸命すれば心を開いてくれると思うので、緊張しすぎないことを目標に頑張りたいと思います。しっかりと自分で行動をしたいと思います。

【□□　□□　　野間幼稚園】

私はトライやる・ウィークの間に頑張ろうと思ったことは園の子どもたちと積極的に接し、気を配り幼稚園教諭という仕事の大変さや内容を学ぶことです。～中略～　仕事の大変さや内容を学ぶことを頑張ろうと思った理由は、私が幼稚園の先生などの人を楽しませることのできる仕事に就きたいからです。忙しさや大変さを学んでいれば自分に向いているかなどのことが分かると思ったからです。しっかりと頑張ろうと思います。

あっという間に終わってしまったトライやる・ウィーク。緊張しながらも精一杯取り組んだからこそ、たくさん成長できたのではないでしょうか。その中で仕事の大変さ、楽しさを知り、親への感謝など多くの事を学べたと思います。これらのことを今後のキャリア形成へ繋げていくことが大切なことであり、それがトライやる・ウィークの成功となるのではないでしょうか。下に特に今回のトライやる・ウィークで先生たちが感じ、気づいたことを挙げておきます。意識して取り組んで、ワンランク上の学年を目指そう。

【感謝】　やはり感謝されることは嬉しいこと。「ありがとう」と言われると照れくさいけど嬉しいですね。「ありがとう」が溢れる学年にしていこう。

【評価】　評価は他人がするもの。自分では頑張っている…でも他己評価で決まってくることがほとんどです。人から評価されて一人前!!　まずは授業から頑張っていこう。